

No.	実施大学	授業科目名	担当教員	単位数	開講区分	曜日	予定回数	時間	実施場所	定員
77	明星大学	基礎環境学 1	田中 修三 理工学部 教授	2	前期	月	15	12:55～14:25	明星大学 日野キャンパス	若干名

#### 【到達目標】

理工学部の教育目標である「学ぶ意欲」と「問題解決力」を踏まえて、本科目の到達目標は以下の通りである。

1. 社会活動の結果発生する地球温暖化、大気汚染、水質汚濁、廃棄物処理、化学物質汚染等の自然環境への影響を多面的(地球的)視点から理解・説明することができる。(学習・教育到達目標 a)
2. 地域・地球環境に係る具体的な課題を抽出し、その対策の制約条件等を理解・説明することができる。(学習・教育到達目標 e-1)

#### 【授業の概要】

下記の授業計画に基づき、教科書を利用しながら授業を行なうので、受講生は教科書の関連部分(各項目の括弧書きページ)を読み、自己学習(予習、復習)をすること。授業の進捗状況に合わせて質疑応答やクイズ(小テスト)を行うことによりアクティブラーニングの動機づけを行い、受講生の理解度を見ながら授業を進めるよう努める。

#### 【授業内容】

1. 学習の目標と評価方法、環境学と社会 1:環境とは何か(教科書 p.1-5)
2. 環境学と社会 2:持続可能な社会(教科書 p.5-11)
3. 環境小史 1:環境問題の変遷、産業型公害(教科書 p.13-19)
4. 環境小史 2:産業型公害(教科書 p.19-23)
5. 地域環境問題 1:大気汚染(教科書 p.23-28)
6. 地域環境問題 2:水質汚濁(教科書 p.28-33)
7. 地域環境問題 3:地下水・土壌汚染(教科書 p.33-35)
8. 第 1 回～7 回授業に関する演習
9. 地域環境問題 4:廃棄物問題(教科書 p.35-41)
10. 地域環境問題 5:化学物質汚染、その他の環境問題(教科書 p.41-46、p.51-55)
11. 地域環境問題 6:放射性物質汚染(教科書 p.46-51)
12. 地球環境問題 1:地球温暖化((教科書 p.57-63)
13. 地球環境問題 2:オゾン層破壊、酸性雨(教科書 p.63-68)
14. 地球環境問題 3:生物多様性の損失ほか(教科書 p.68-76)
15. 第 1 回～14 回授業に関する総合演習

#### 【成績評価方法】

学期中に授業内クイズを 3～4 回行い、また課題を指定したレポート/演習も提出させる。定期試験は 2 回(中間、期末)行い、試験日程は第 1 回授業にて案内する。

評価割合:クイズ 20%、レポート/演習 10%、定期試験(中間、期末)70%を目安とする。授業内容及び成績評価において、到達目標の重みは目標 1 が約 70%、目標 2 が約 30%を占める。

#### 【教科書、参考書、教材等】

教科書:基礎から学べる環境学/田中修三・西浦定継著(共立出版)/2,500 円

本書の主に第 1 章～3 章を使用する。授業の関連資料は適宜配布する。

参考図書:土壌の汚染を知る/田中修三著(技報堂出版)/2,000 円

※ この授業は、4/13(月)が初回です。